

# お住まいの役立ち情報

## 生活デザイン収納術



部屋が小さくても好きな生活、収納デザインで出来る。

日常生活で家に溢れているものがあったてもなかなか収納仕切れない。

ものを片付けても後で使うとき出てこない。

どうやったら、ものを綺麗に片付け、収納場所をきちんと把握し、使うときに探さずすぐに手に入れられるのか。

それは、「生活デザイン収納術」で解決

生活デザイン収納と一般的な収納とはどこが違うのか。

一般的な収納とは、ものをそのままどこか納め、又使うときそのままに引き出す。

「生活デザイン収納術」とは、広さや機能、便利さだけにとどまらず、空間をいかすことで、より美しく、より快適に、より自分らしく、より豊に暮らせる収納とのこと。

生活デザイン収納が実現できるために計画を立てよう。

(1) 収納したいものの量と性格を把握、必要な収納スペースを知る。

家族の持ちものが「どれくらいの量があるか」、それは「どんな性格をしているのか」を知ることから収納計画はスタート。ものの性格とは、「だれのものか」「どこで使うか」

「どれくらいの頻度で使うか」といったこと。家族共通のもの・お客さま用のもので、あまり使わない場合は一ヶ所にまとめる「集中収納」とした方がいいでしょう。

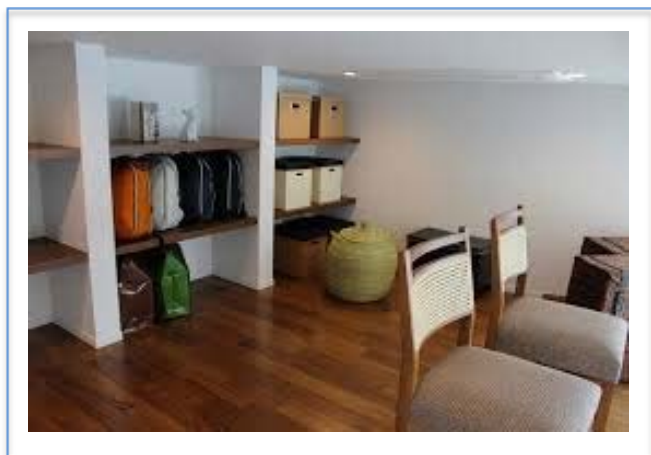
よく使うものは、使う場所にしまう「分散収納」。まずは、こうした視点で家の中にあるものを見直してみよう。



(2) 「適材適所の収納」を設けるために  
「集中収納」と「分散収納」を考える。

大きいもの、大量のものをしまう

「集中収納」は、なるべくスペースを確保する。



「分散収納」は小さいスペースを活用し、壁面などを利用することが多い。

インテリアとのコーディネートが大切になる。また、効率的に収納を確保でき、住まいとデザインをマッチできる収納グッズを選ぶのがおすすめ。置き家具はワンポイントアクセント程度にする方がいいでしょう。

(2) 集中収納をベースに「見せる収納」と「隠す収納」を使い分ける。

最後に、あまり使わないものや捨てられたくないものを集中収納にとっておく。

そのうえで、普段よく使うものをインテリアの

一部として飾るようにしまう「見せる収納」と、よく使うがみせたくないものをしまう「隠す収納」を計画しよう。

① コレクション等を飾ってみせる。

長年かかって集めたコレクションやおしゃれなインテリア小物などのためにあらかじめ飾れるスペースを取っておく。

② 中身がわかる程度に見せる。どこに何があるか、扉を閉めていても知りたい生活用品や小物等は、半透明の収納にしまっておくか、又手が届きやすい所に納めておく。

③ 実用品をあえて見せる。ステーションナリー、小物等、いつも目につきやすい位置にしまいたい実用品。隠さずにセンスよく飾れば、インテリアの一部になる。

